

2025 年 11 月 14 日
 豪州経済

 りそなホールディングス 市場企画部
 渋谷 和樹

日米欧 Market View:25 年 11 月豪州概況

豪中銀の利下げ局面終了観測が豪ドルの支援材料

要約

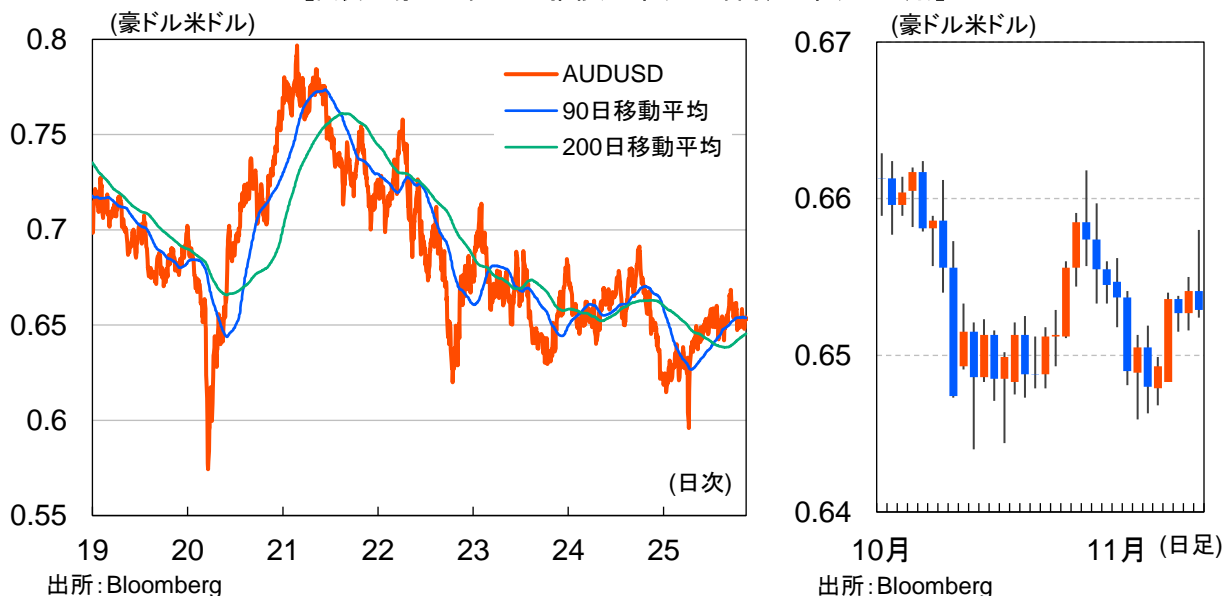
- 10 月の豪ドルは対ドルで横ばい、対円では上昇した。
- 対ドルでは 26 年央にかけて現状(1 豪ドル 0.66 ドル)よりもやや豪ドル高方向に予想を修正した。短期的には米 FRB の動向が注目されようが、豪中銀のタカ派姿勢が支援材料となろう。
- 対円では高市政権の財政拡張的な政策に対する期待感から短期的には円が売られやすい。ただし、現実的な政策対応を取るにつれ過度な懸念は後退し、一方向な円安進行は想定していない。

【為替】

豪ドルは対ドルで横ばい、対円では上昇

10 月の豪ドルは対ドルでは前月末比概ね横ばい、対円では大きく上昇した(図表 1,2)。上旬は、NZ 中銀の大幅利下げや豪雇用統計の下振れなどもあり弱含んで推移したが、一方で米中貿易協議の進展や豪 CPI の上振れなどが買い材料となり、相場を下支えする格好となった。対円は、上旬の本邦における政局不透明感の高まりや、下旬の高市政権発足がいずれも円売り材料と捉えられたことから、月を通じて上昇しやすい地合いとなった。

【図表 1: 豪ドル米ドルの推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 ヶ月)】

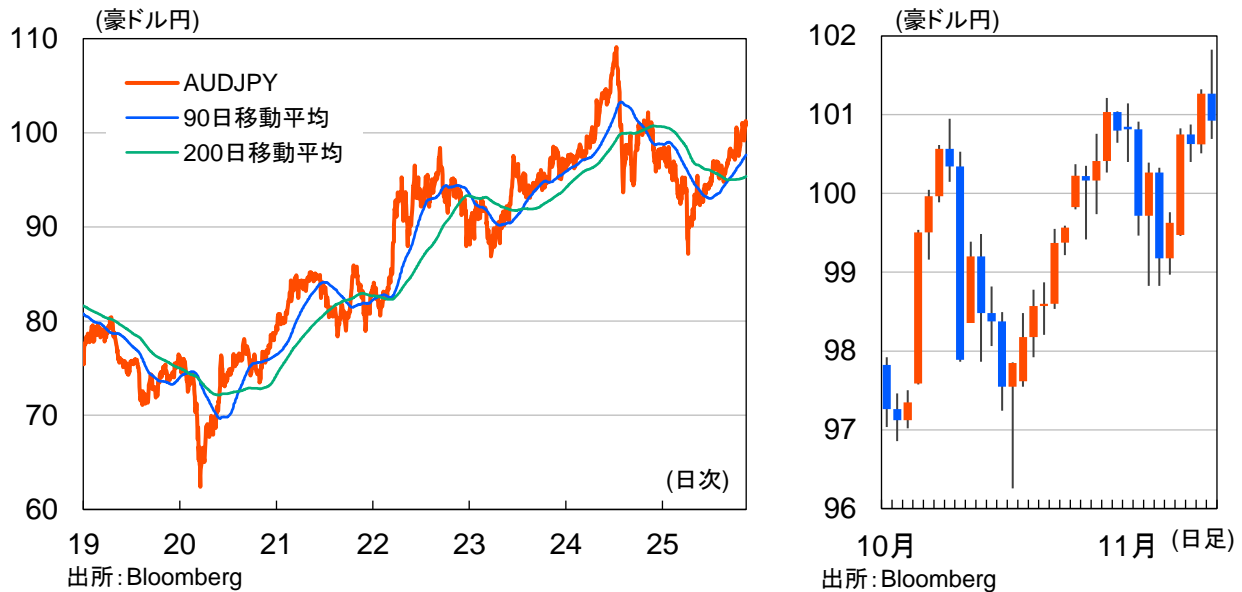


◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

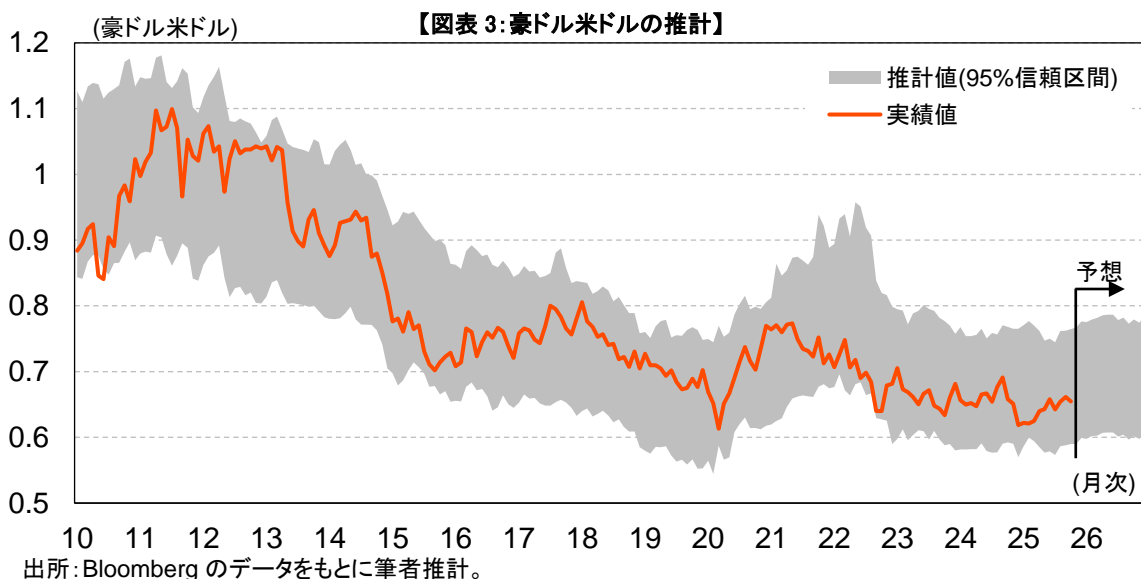
【図表 2: 豪ドル円の推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 ヶ月)】



利下げ観測後退が豪ドルの支援材料に

11 月以降の豪ドルは、対米ドルでは 26 年央にかけて豪ドル高方向に予想を修正した(図表 3,4)。今月は米中貿易対立の懸念が後退した一方、米 FRB の利下げ観測後退などから米ハイテク株が軟調に推移するなどややリスク回避的となっていることから、豪ドルは横ばい圏での推移が続いている。短期的には、12 月 FOMC 会合において FRB が利下げを決定するかに注目が集まろうが、来年にかけては豪中銀がインフレに対する警戒感から追加利下げを行わないとの観測も織り込まれつつあり、豪ドルの支援材料となりそうだ。

対円は、高市政権の財政拡張的な政策に対する期待感が高まっていることから、短期的には円を買いづらい展開が続く。ただし、現実的な政策対応を取るにつれ拡張財政に対する過度な懸念が後退するほか、同氏が以前ほど極端な金融緩和路線を志向していないとみられることから、日銀の利上げ観測が次第に高まる可能性がある。このため、来年にかけて一方向に円安が進行する展開は現在のところ想定していない。



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 4: 豪ドルの為替見通し】

		10-12 月	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月
豪ドル 米ドル	レンジ	0.62-0.70	0.62-0.70	0.64-0.72	0.64-0.72	0.64-0.72
	期末値	0.66	0.66	0.68	0.68	0.68
豪ドル 円	レンジ	93-105	93-105	96-108	96-108	96-108
	期末値	99	99	102	102	102

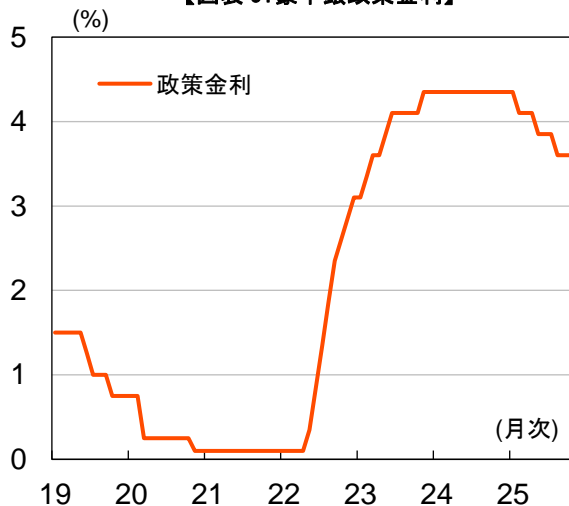
出所: りそなホールディングス

【金融政策】

9 月会合では政策金利の据え置きを決定

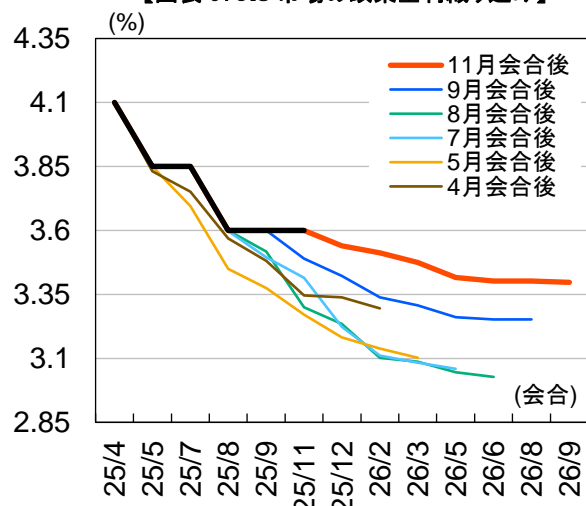
豪中銀は 11 月 4 日の政策決定会合で、政策金利を 3.60% と、市場予想通り政策金利を据え置いた(図表 5)。声明では「第 3 四半期の基調的インフレ率の上昇の一部は一時的な要因によるもの」としながらも、「経済にインフレ圧力が残っている可能性がある」とインフレに対する警戒感を示したうえ、「労働市場は依然としてやや逼迫しているように見える」と、労働市場についてもやや強気な姿勢を示した。市場では、今会合をタカ派的な内容と受け止め、金利先物市場における将来の政策金利見通しは会合後に上昇した(図表 6)。筆者は、今会合で示された経済見通しでインフレ率が上方修正されたことを勘案し、来年 2 月に 1 回の追加利下げを行い緩和局面が終了となる方向に、予想を修正する。

【図表 5: 豪中銀政策金利】



出所: Bloomberg

【図表 6: OIS 市場の政策金利織り込み】



出所: Bloomberg

【景気】

物価・消費: 物価の基調は目標レンジ内で推移

10 月 29 日に公表された 7-9 月 CPI 総合指数は前年比 3.2%、豪中銀が基調的なインフレ指標として重視するトリム平均値は前年比 3.0% だった(図表 7)。総合指数に関しては物価目標のレンジ(2~3%)の範囲から上振れており、電気代の大幅な上昇がインフレ加速に寄与した。これは、前回も言及したが、前年に実施された電

◎注意事項

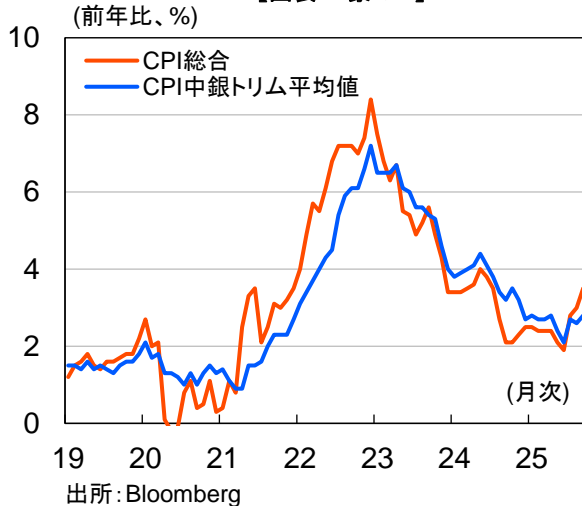
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

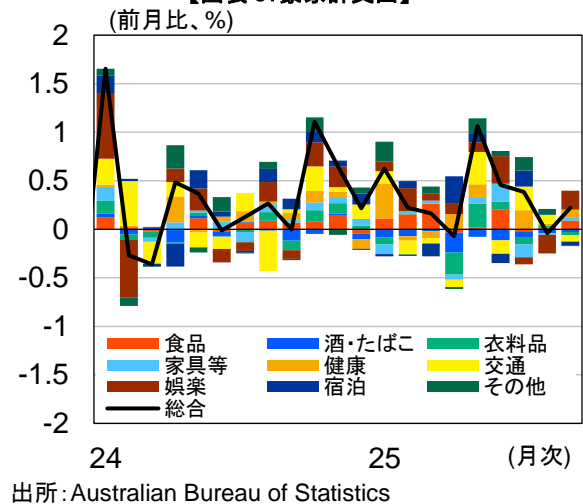
気代補助金の効果が剥落し、統計上の反動増となったためである。

11月3日公表の9月家計支出は、前月比0.2%と市場予想(同0.4%)を下回ったが、前月からは伸びが加速した(図表8)。内訳をみると、娯楽が増加に転じたものの前月に大きく減少した反動の可能性もある。また、交通や宿泊が下落したことから裁量部門の支出は横ばい程度であり、足元では不急の消費を控える慎重な姿勢が続く。ただし、総支出額は増加基調が継続しており、全体としてはインフレ率の鈍化に伴う実質賃金の改善が家計消費を下支えしている。

【図表7: 豪CPI】



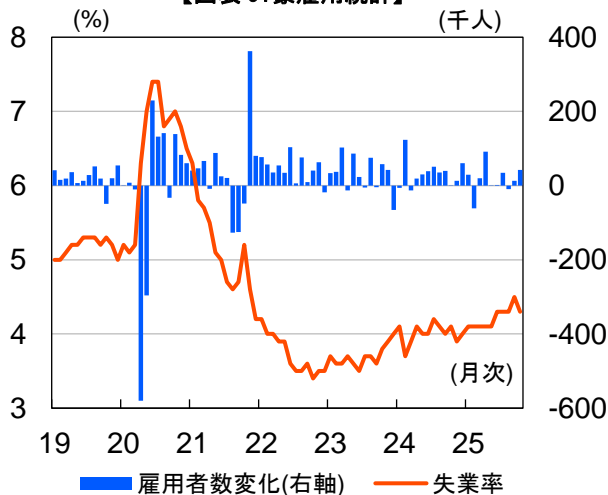
【図表8: 豪家計支出】



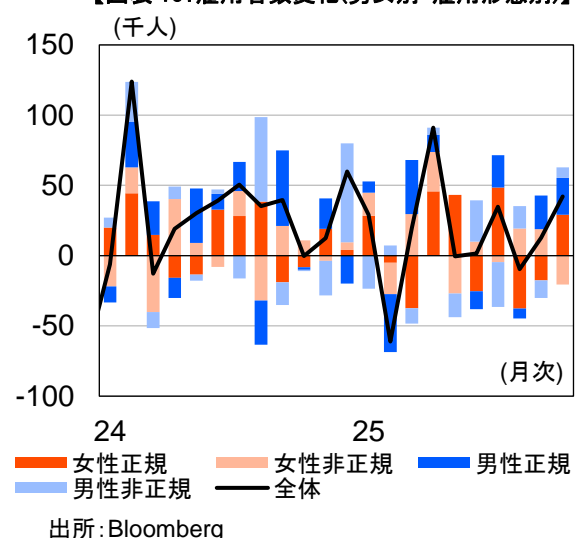
雇用: 雇用者数変化・失業率ともに市場予想を上回る強い内容

11月13日に公表された10月の雇用統計は、前月からの雇用者数変化が+42.2千人(市場予想: +20千人)、失業率が4.3%(市場予想: 4.4%)と、雇用者数の伸び、失業率ともに市場予想を上回った(図表9)。内訳をみると、男性、女性ともに正規労働者が増加しており、強い内容であった(図表10)。雇用指標は今年春以降、強弱が交錯しながらも全体としては弱めの推移が目立ってきており、おしなべてみれば徐々に労働市場が軟化しつつあるという見方に現在のところは変わりないとみている。

【図表9: 豪雇用統計】



【図表10: 雇用者数変化(男女別・雇用形態別)】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
243	2025/7/31	米国経済	7 月 FOMC
244	2025/8/1	欧州経済	日本株の 7 月セクター動向と 8 月見通し
245	2025/8/1	日本株	日本株需給(7 月 22 日～7 月 25 日)
246	2025/8/4	欧州経済	25 年 7 月ユーロ圏物価動向
247	2025/8/4	米国経済, 米国株	7 月 ISM 製造業景況感指数と米国株見通し
248	2025/8/4	米国経済	7 月雇用統計
249	2025/8/8	日本株	日本株需給(7 月 28 日～8 月 1 日)
250	2025/8/13	米国経済	7 月米 CPI
251	2025/8/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 8 月)
252	2025/8/14	豪州経済	25 年 8 月豪州概況
253	2025/8/18	日本株	日本株需給(8 月 4 日～8 月 8 日)
254	2025/8/22	日本株	日本株需給(8 月 12 日～8 月 15 日)
255	2025/8/25	欧州経済	25 年第二四半期ユーロ圏賃金動向
256	2025/8/28	コモディティ	25 年 7・8 月 WTI 原油先物価格
257	2025/8/28	半導体, 日本株, 米国株	エヌビディアの決算 FY2026 2Q
258	2025/8/28	日本株	日本株需給(8 月 18 日～8 月 22 日)
259	2025/8/28	日本株	4-6 月期決算と年末までの見通し
260	2025/9/3	日本株	25 年 8 月ユーロ圏物価動向
261	2025/9/3	米国株, 米国経済	8 月 ISM 製造業景況感指数と米国株見通し
262	2025/9/5	日本株	日本株需給(8 月 25 日～8 月 29 日)
263	2025/9/8	米国経済	8 月雇用統計
264	2025/9/10	日本株	自民党総裁選と日本株見通し
265	2025/9/12	日本株	日本株需給(9 月 1 日～9 月 5 日)
266	2025/9/12	米国経済	8 月米 CPI
267	2025/9/12	半導体, 日本株, 米国株	9 月半導体市場及びハイテク株動向
268	2025/9/12	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
269	2025/9/18	米国経済, 米金利, 米国株	9 月 FOMC とマーケットへの影響
270	2025/9/18	豪州経済	25 年 9 月豪州概況
271	2025/9/19	日本株	ここもとの日本株上昇相場についての考察～日経平均 4 万 5000 円は妥当か
272	2025/9/22	日本株	日本株需給(9 月 8 日～9 月 12 日)
273	2025/9/29	日本株	日本株需給(9 月 16 日～9 月 19 日)
274	2025/9/30	コモディティ	25 年 8・9 月 WTI 原油先物価格
275	2025/10/1	日本株	日本株 9 月レビューと 10 月見通し
276	2025/10/2	欧州経済	25 年 9 月ユーロ圏物価動向
277	2025/10/2	米国株, 米国経済	9 月 ISM 製造業景況感指数と米国株見通し
278	2025/10/3	日本株	日本株需給(9 月 22 日～9 月 26 日)
279	2025/10/6	日本株, ドル円	高市氏勝利とマーケットへの影響
280	2025/10/10	半導体, 日本株, 米国株	10 月半導体市場及びハイテク株動向
281	2025/10/10	日本株	日本株需給(9 月 29 日～10 月 3 日)
282	2025/10/16	豪州経済	25 年 10 月豪州概況
283	2025/10/20	日本株	日本株需給(10 月 6 日～10 月 10 日)
284	2025/10/24	日本株	日本株需給(10 月 14 日～10 月 17 日)
285	2025/10/30	米国経済	10 月 FOMC とマーケット環境の整理
286	2025/10/31	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
287	2025/10/31	日本株	日本株需給(10 月 20 日～10 月 24 日)
288	2025/10/31	欧州経済	25 年第 3 四半期ユーロ圏 GDP 統計
289	2025/11/4	欧州経済	25 年 10 月ユーロ圏物価動向
290	2025/11/4	日本株	日本株 10 月レビューと 11 月見通し
291	2025/11/5	米国株, 米国経済	11 月 ISM 製造業景況感指数と米国株見通し
292	2025/11/5	日本株	日本株需給(10 月 27 日～10 月 31 日)

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。